

公立図書館職員の平成17年度研修に関する実態調査票（都道府県立図書館用）問1

地方公共団体コード		自治体名	
図書館名		記入者職・氏名	
電話番号		メールアドレス	

【問1】 貴都道府県立図書館・教育委員会・公共図書館協（議）会等が平成17年度（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）に主催した図書館職員対象の研修についてお答えください。（ア欄）から（コ欄）については、調査票下部の各欄の選択肢より1つだけお選びください。

研修の名称	主催者	参加対象者（参加資格）					（カ欄） 実施 日数	（キ欄） 講師	（ク欄） 形式等	（ケ欄） 課題の 有無	（コ欄） 修了証 の有無
		（ア欄） 研修の 内容	（イ欄） 所属	（ウ欄） 正規・ 非常勤 等	（エ欄） 経験等	（オ欄） 定員					

【ア欄 研修の内容】

- 1 資料の収集・整理・保存
- 2 図書館経営
- 3 図書館関連法規
- 4 情報通信技術
- 5 情報検索
- 6 レファレンスサービス
- 7 児童青少年サービス
- 8 学校支援サービス
- 9 障害者サービス
- 10 地域資料情報サービス
- 11 行政（政策立案）支援サービス
- 12 ビジネス支援サービス
- 13 法律情報サービス
- 14 医学・健康情報サービス
- 15 その他の図書館サービス
- 16 資料・主題情報
- 17 複数のテーマにわたる研修
- 18 その他

【ウ欄 正規・非常勤等】

- 1 正規職員のみ
- 2 非常勤職員等含む
- 3 委託・派遣職員等含む

【キ欄 講師】

- 1 内部講師のみ
- 2 外部講師（図書館員）含む
- 3 外部講師（大学教員等）含む

【エ欄 経験等】

- 1 新任・転任職員
- 2 中堅職員
- 3 館長
- 4 経験問わず
- 5 その他

【ク欄 形式等】

- 1 講義のみ
- 2 ワークショップ（演習等）含む
- 3 その他

【ケ欄 課題の有無】

- 1 事前課題あり
- 2 修了課題あり
- 3 事前・修了課題あり
- 4 課題なし

【オ欄 定員】

- 1 10名未満
- 2 10～29名
- 3 30～49名
- 4 50名以上

【コ欄 修了証の有無】

- 1 修了証あり
- 2 修了証なし

【イ欄 所属】

- 1 市区町村立図書館
- 2 都道府県立図書館
- 3 1および2
- 4 その他

【カ欄 実施日数】

- 1 半日以下
- 2 1日
- 3 2日
- 4 3日以上

公立図書館職員の平成17年度研修に関する実態調査票（都道府県立図書館用）問2

地方公共団体コード		自治体名	
図書館名		記入者職・氏名	
電話番号		メールアドレス	

【問2】貴都道府県立図書館職員が平成17年度(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)に参加した館外の研修についてお答えください。

(1) 平成17年度に館外の研修に参加しましたか。

回答欄	<input type="checkbox"/>	1 参加した	<input type="checkbox"/>	2 参加しなかった
-----	--------------------------	--------	--------------------------	-----------

(2) 館外の研修に参加した館にお伺いします。

平成17年度に参加した館外の研修についてお答えください。(サ欄)から(ス欄)については、調査票下部の各欄の選択肢より1つだけお選びください。(セ欄)は、(ス欄)で2を選択した場合に、該当する都道府県名を選択してください。

(サ欄) 研修の番号	(シ欄) 参加者の職	(ス欄) 開催地	(セ欄) 県外の場合の 開催地都道府 県名	参加人数 (人)	18の研修の名称 *(サ欄)が18の場合のみ回答

【サ欄 研修の番号】

- | | |
|---|---|
| 1 図書館司書専門講座 (文部科学省・国立教育政策研究所) | 14 国立情報学研究所の図書館関連の研修等 |
| 2 図書館地区別研修 (文部科学省等) | 15 大学の図書館関連の公開講座 |
| 3 新任図書館長研修 (文部科学省等) | 16 デジタル・ライブラリアン講習会
(デジタル・ライブラリアン研究会) |
| 4 図書館等職員著作権実務講習会 (文化庁) | 17 図書館情報学関係研究団体の研究集会等 |
| 5 国立国会図書館の研修等 | 18 その他の図書館関連の研修等 |
| 6 全国図書館大会 (日本図書館協会等) | |
| 7 全国公共図書館研究集会 (日本図書館協会等) | |
| 8 中堅職員ステップアップ研修 (日本図書館協会) | |
| 9 児童図書館員養成講座 (日本図書館協会) | |
| 10 日本図書館協会および同協会の委員会等で行う
その他の研修・研究集会等 | |
| 11 全国7ブロック公共図書館協議会主催の研修等 | |
| 12 都道府県単位の図書館関連の研修等
(県レベルの公共図書館協[議]会・教育委員会・県立図書館等) | |
| 13 都道府県内ブロック単位の図書館関連の研修等 | |

【シ欄 参加者の職】

- 1 正規職員のみ
- 2 非常勤職員等を含む
- 3 委託・派遣職員等を含む

【ス欄 開催地】

- 1 県内
- 2 県外

公立図書館職員の平成17年度研修に関する実態調査票（都道府県立図書館用）問3

地方公共団体コード		自治体名	
図書館名		記入者職・氏名	
電話番号		メールアドレス	

【問3】研修に関するご意見

(1) 研修を企画・実施しようとする際に直面する問題点(課題)のうち、特に重大なものを以下の選択肢から「3つまで」選んでください。「11 その他」を選択した場合は、内容を具体的に記入してください。

(1)回答欄	(「11 その他」を選択した場合、内容を具体的に記入してください)

- 1 予算や助成金等が減少していること
- 2 研修テーマの設定が難しいこと
- 3 講師の選定が難しいこと
- 4 参加者が集まらないこと
- 5 主催しなければならない研修の数が多すぎる
- 6 研修の企画・実行に十分な時間を割けないこと
- 7 職員のキャリアに応じた研修の体系がないこと
- 8 司書と行政職等の研修ニーズや意識が異なること
- 9 非常勤職員、委託・派遣職員等に対する研修について明確な方針がないこと
- 10 専門的知識・スキルの継承のためにどのような研修をすれば良いかわからないこと
- 11 その他

(2) 職員が研修に参加する上での問題点(課題)のうち、特に重大なものを以下の選択肢から「3つまで」選んでください。「9 その他」を選択した場合は、内容を具体的に記入してください。

(2)回答欄	(「9 その他」を選択した場合、内容を具体的に記入してください)

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| 1 旅費の確保が難しいこと | 6 どのような研修に参加させればよいか
わかりにくいこと |
| 2 多忙であることや勤務日程調整等により研修の時間がとりにくいこと | 7 正規職員以外の職員の研修参加が難しいこと |
| 3 計画的な研修参加や研修を積み重ねていくことが難しいこと | 8 類似のテーマの研修が多すぎる |
| 4 職員の意識や異動により、研修の成果が活かせないこと | 9 その他 |
| 5 実践的なサービスに役立つ研修が少ないこと | |

(3) その他

研修に関するご意見がありましたら、ご記入ください。

--

公立図書館職員の平成17年度研修に関する実態調査票（市区町村立図書館用）問1

地方公共団体コード		都道府県名		自治体名	
図書館名		記入者職・氏名			
電話番号		メールアドレス			

【問1】 貴自治体内の図書館・教育委員会・公共図書館協(議)会等が平成17年度(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)に主催した図書館職員対象の研修についてお答えください。(ア欄)から(コ欄)については、調査票下部の各欄の選択肢より1つだけお選びください。

研修の名称	主催者	参加対象者(参加資格)					(カ欄)実施日数	(キ欄)講師	(ク欄)形式等	(ケ欄)課題の有無	(コ欄)修了証の有無
		(ア欄)研修の内容	(イ欄)所属	(ウ欄)正規・非常勤等	(エ欄)経験等	(オ欄)定員					

【ア欄 研修の内容】

- 資料の収集・整理・保存
- 図書館経営
- 図書館関連法規
- 情報通信技術
- 情報検索
- レファレンスサービス
- 児童青少年サービス
- 学校支援サービス
- 障害者サービス
- 地域資料情報サービス
- 行政(政策立案)支援サービス
- ビジネス支援サービス
- 法律情報サービス
- 医学・健康情報サービス
- その他の図書館サービス
- 資料・主題情報
- 複数のテーマにわたる研修
- その他

【ウ欄 正規・非常勤等】

- 正規職員のみ
- 非常勤職員等含む
- 委託・派遣職員等含む

【エ欄 経験等】

- 新任・転任職員
- 中堅職員
- 館長
- 経験問わず
- その他

【オ欄 定員】

- 10名未満
- 10～29名
- 30～49名
- 50名以上

【イ欄 所属】

- 市区町村立図書館
- 都道府県立図書館
- 1および2
- その他

【カ欄 実施日数】

- 半日以下
- 1日
- 2日
- 3日以上

【キ欄 講師】

- 内部講師のみ
- 外部講師(図書館員)含む
- 外部講師(大学教授等)含む

【ク欄 形式等】

- 講義のみ
- ワークショップ(演習等)含む
- その他

【ケ欄 課題の有無】

- 事前課題あり
- 修了課題あり
- 事前・修了課題あり
- 課題なし

【コ欄 修了証の有無】

- 修了証あり
- 修了証なし

公立図書館職員の平成17年度研修に関する実態調査票（市区町村図書館用）問2

地方公共団体コード		都道府県名		自治体名	
図書館名		記入者職・氏名			
電話番号		メールアドレス			

【問2】貴市区町村立図書館職員が平成17年度（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）に参加した館外の研修についてお答えください。

(1) 平成17年度に館外の研修に参加しましたか。

回答欄		1 参加した	2 参加しなかった
-----	--	--------	-----------

(2) 館外の研修に参加した館にお伺いします。平成17年度に参加した館外の研修についてお答えください。（サ欄）から（ス欄）については、調査票下部の各欄の選択肢より1つだけお選びください。（セ欄）は、（ス欄）で2を選択した場合に、該当する都道府県名を選択してください。

(サ欄) 研修の番号	(シ欄) 参加者の職	(ス欄) 開催地	(セ欄) 県外の場合の 開催地都道府 県名	参加人数 (人)	18の研修の名称 *(サ欄)が18の場合のみ回答

【サ欄 研修の番号】

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 図書館司書専門講座（文部科学省・国立教育政策研究所） 2 図書館地区別研修（文部科学省等） 3 新任図書館長研修（文部科学省等） 4 図書館等職員著作権実務講習会（文化庁） 5 国立国会図書館の研修等 6 全国図書館大会（日本図書館協会等） 7 全国公共図書館研究集会（日本図書館協会等） 8 中堅職員ステップアップ研修（日本図書館協会） 9 児童図書館員養成講座（日本図書館協会） 10 日本図書館協会および同協会の委員会等で行う
その他の研修・研究集会等 11 全国7ブロック公共図書館協議会主催の研修等 12 都道府県単位の図書館関連の研修等
(県レベルの公共図書館協[議]会・教育委員会・県立図書館等) 13 都道府県内ブロック単位の図書館関連の研修等 | <ul style="list-style-type: none"> 14 国立情報学研究所の図書館関連の研修等 15 大学の図書館関連の公開講座 16 デジタル・ライブラリアン講習会
(デジタル・ライブラリアン研究会) 17 図書館情報学関係研究団体の研究集会等 18 その他の図書館関連の研修等 |
|--|--|

【シ欄 参加者の職】

- 1 正規職員のみ
- 2 非常勤職員等を含む
- 3 委託・派遣職員等を含む

【ス欄 開催地】

- 1 県内
- 2 県外

公立図書館職員の平成17年度研修に関する実態調査票（市区町村立図書館用）問3

地方公共団体コード		都道府県名		自治体名	
図書館名		記入者職・氏名			
電話番号		メールアドレス			

【問3】研修に関するご意見

(1) 研修を企画・実施しようとする際に直面する問題点(課題)のうち、特に重大なものを以下の選択肢から「3つまで」選んでください。「11 その他」を選択した場合は、内容を具体的に記入してください。

(1)回答欄	(「11 その他」を選択した場合、内容を具体的に記入してください)

- 1 予算や助成金等が減少していること
- 2 研修テーマの設定が難しいこと
- 3 講師の選定が難しいこと
- 4 参加者が集まらないこと
- 5 主催しなければならない研修の数が多すぎる
- 6 研修の企画・実行に十分な時間を割けないこと
- 7 職員のキャリアに応じた研修の体系がないこと
- 8 司書と行政職等の研修ニーズや意識が異なること
- 9 非常勤職員、委託・派遣職員等に対する研修について明確な方針がないこと
- 10 専門的知識・スキルの継承のためにどのような研修をすれば良いかわからないこと
- 11 その他

(2) 職員が研修に参加する上での問題点(課題)のうち、特に重大なものを以下の選択肢から「3つまで」選んでください。「9 その他」を選択した場合は、内容を具体的に記入してください。

(2)回答欄	(「9 その他」を選択した場合、内容を具体的に記入してください)

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------|
| 1 旅費の確保が難しいこと | 6 どのような研修に参加させればよいかかわりにくいこと |
| 2 多忙であることや勤務日程調整等により研修の時間がとりにくいこと | 7 正規職員以外の職員の研修参加が難しいこと |
| 3 計画的な研修参加や研修を積み重ねていくことが難しいこと | 8 類似のテーマの研修が多すぎる |
| 4 職員の意識や異動により、研修の成果が活かさないこと | 9 その他 |
| 5 実践的なサービスに役立つ研修が少ないこと | |

(3) その他

研修に関するご意見がありましたら、ご記入ください。

--